



食品マーケティング研究

生命環境学部 生命科学科
准教授 堀田 学（ほりたまなぶ）

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 1708号室
Tel 0824-74-1770 Fax 0824-74-1770
E-mail horita@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 食品マーケティング論，マーケティング論，流通論

キーワード： 6次産業化，地域ブランド，卸売市場，農業協同組合，農産物直販所

● 現在の研究について

- ① マーケティング論・サプライチェーンの視点から，農産物流通，特に卸売市場問題に取り組んできた。特に卸売市場制度の変化による取引のあり方，流通主体の経営問題について検討してきた。
- ② 農産物直販所の運営，展開過程，生産者の出荷先としての位置づけの変化を分析している。
- ③ 地域活性化の問題として，買い物弱者問題・地域医療問題について取り組んでいる。
- ④ 「地域ブランド」の論理的位置づけと形成・維持・展開の問題について研究している。

● 今後進めていきたい研究について

- ① 卸売市場制度改正による仲卸業者への影響について分析する。
・卸売市場制度改正によって，ますます取引等の自由度が高まると同時に卸売市場毎の個性化が求められている。その中で，零細な事業規模でありながら重要な機能を担う仲卸業者の経営存続と機能発揮の方向性を検討したい。
- ② 6次産業化の推進方向に関する研究
・6次産業化は農業者による個別の展開では十分な成果が得られない。そこで地方公共団体やサポートセンター等の公的サポート体制があ

るが，地域によってその実情は異なっている。その望ましいあり方について検討したい。

・JAは協同組合としての機能を発揮し，農業者を牽引して6次産業化を推進する余地が見出される。そのあり方について検討する。

- ③ 地域ブランドはブランドの下位概念であるが，商品・地域性による結合による組織的展開に特徴がある。この地域ブランドを超え，マイスター制といった人的資源・結合をもとにしたブランドの新しいあり方について提案型の研究を進める。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

- A. 6次産業化の推進への一層の寄与。これまで6次産業化中央サポートセンター（全国段階），広島県6次産業化中央サポートセンター（県段階）でのサポートをしてきたが，組織づくり，広告・コミュニケーションに関するサポートを充実させる。
- B. 地域ブランド推進への寄与。これまで安芸高田市での地域ブランド認証に関わってきたが，その新しい展開に関わりたい。
- C. 高大連携への寄与。近年，地域を考えるワークショップに関与してきたが，今後もサポートしたい。

最新の情報はリサーチマップをご参照ください

<https://researchmap.jp/read0083918/>